

## 1

## 高徳線・志度線

商学部 2 年

井上 清隆

## 1. はじめに

私が担当する部分では、地方都市に目を向けて、競合していると思われる路線について記述する。今回着目するのは、四国地方・香川県の県庁所在地、高松市だ。そもそも香川県内で事業を行っている鉄道事業者はいくつあるのだろうか。答えはたった3つである。四国旅客鉄道(以下「JR 四国」)、高松琴平電気鉄道(以下「ことでん」)、四国ケーブルの3社が現在存在している。香川県の面積は1,876.73平方キロメートルで、日本で最も小さな県となっていることを考えると、3社にとどまっていることは納得できるかもしれない。県内にはケーブルカーを除くと7つの路線が走っている。JR 四国の予讃線、高徳線、土讃線、本四備讃線(瀬戸大橋線)、そしてことでんの琴平線、長尾線、志度線である。この中で競合路線として以下で取り上げるのは、JR 四国の高徳線と、ことでんの志度線だ。まずは、それぞれの路線概要から説明したい。

## 2. 高徳線の概要

JR 四国・高徳線は、香川県高松市の高松駅から徳島県徳島市の徳島駅を結ぶ。そのうち高松駅から途中の讃岐相生駅までが、香川県に属する。高松駅を発車する列車は、普通列車(日中はワンマン運転)が1時間に1本~3本、特急列車が1時間に1本(予讃線直通の岡山行除く)となっている。そのほか区間運転列車や、牟岐線・鳴門線直通列車も運行される。



< 高松・徳島間を結ぶ特急「うずしお」新型 2700 系気動車 (徳島駅で撮影)>

2019 年度における高松徳島間の、1 日あたり平均通過人員(輸送密度)は 4,289 人と、JR 四国全体の 4,416 人

を下回っているのが、当該路線の現状である。ただし、この数字は瀬戸大橋線が平均値を押し上げている面もあり、路線別にみると第3位(9路線)の値である。

### 3. 志度線の概要

ことでん・志度線は香川県高松市の瓦町駅から同県さぬき市の志度駅を結ぶ。瓦町駅を発車する列車は、日中は30分間隔、ラッシュ時は10分または20分間隔で運行されている。また、一部列車は途中の大町駅止まりとなる。優等列車は走っておらず、すべて各駅停車となっている。ことでんの他の2路線(琴平線と長尾線)は、分岐点となる瓦町駅からその先の高松築港駅まで乗り入れているが、志度線は瓦町駅の駅構造上の問題から、乗り入れは行われず、すべて志度線内のみで完結する。



< 瓦町行 700 形電車 (名古屋市交通局より譲受け)>

### 4. 取り上げる路線の決定にあたって

今回競合路線を取り上げるにあたって、JR 四国高松～琴平間(予讃線+土讃線)と、ことでん高松築港～琴電琴平間(琴平線)も検討対象となった。ことでん高松築港駅は、JR 四国高松駅と 300 メートルほどの距離にあり、乗り換えは可能である。また、琴平線の終着駅・琴電琴平駅と JR 四国琴平駅は、駅舎を出ると互いの駅舎が見えるほど近くにある。これらを考慮すると、高松～琴平間の移動にあたっては、いずれの路線を利用することも可能であるといえる。しかしながら、両者は走行ルートが大きく異なっており、途中駅を利用する乗客層が一致するとは考えられないため、取り上げないこととした。



上に挙げたのは、JR 四国とことでんが共同で発行している、「ことでん・JR くるり～んきっぷ」の対象範囲を示した路線図である(1)。簡略化された図ではあるが、これを見ても分かるように、JR 四国の路線は、香川県中部(中

讚と呼ばれる)にかけて県内の北部を經由し、松山方面と別れて善通寺・琴平方面へ向かうのに対し、ことでの路線は高松市内を南下した後、中讃南部を琴平へ向けてまっすぐ向かっている。走行ルートが明らかに異なることが分かる。



< 琴電琴平駅前から見える JR 琴平駅 >

## 5.2 路線間の距離

上で触れた2路線とは異なり、高徳線と志度線は非常に多くの箇所で線路が近接しており、競合路線ということができると考えた。高徳線・高松駅を出発した列車は、一度徳島方面とは真逆の西の方向へと向かうものの、香川県の観光名所である栗林公園の最寄り駅を經由した後、線路は東へと向かう。高徳線・栗林駅から先、琴電志度線との距離は1キロメートル弱と、徐々に近づく。源平合戦の地・屋島(JRとことでんにはともに屋島駅が存在する)を過ぎると、お互いの線路が見えるほど近づいていく。最も線路が近づくのは、高徳線・讃岐牟礼駅と志度線・八栗新道駅の周辺で、国道11号線を挟んで駅同士が向かい合っている。もしこの駅の近くに自分の家があれば、どちらを利用するか迷ってしまうような近さだ。



© Google

そのほかにも、高徳線・八栗口駅と志度線大町駅、高徳線・屋島駅と志度線・古高松駅などは、周辺住民が両方の駅を利用できるほど近く(1キロメートルに満たない)にある。我が一橋大学が中央線・国立駅と南武線・谷保駅という、2キロメートル以上離れた両駅を最寄り駅として設定していることを考えれば、十分に利用の選択肢となりうるだろう。

## 6. 実際に利用するとしたら…

この節では、2路線を選択肢として考えた場合、運賃・所要時間の面でどちらが優位なのかについて取り上げる。

ただし、条件をできるだけ同じようにするために、高德線は高松駅から、志度線は琴平線の高松築港駅から出発し瓦町駅で乗り換えて乗車すると想定する。

讃岐牟礼駅・八栗新道駅までの所要時間と運賃は下表の通り。

	高德線	志度線
所要時間合計	23～35分	30分(乗り換え除く)
運賃	260円	370円

まず運賃については、高德線が100円以上安い。JR四国の運賃計算は、幹線と地方交通線に分かれているが、高德線は幹線に属する。この区間の営業キロは13.4kmで、11～15kmの260円となる。ことでのこの区間の営業キロは11kmで、本来は10.1km以上12km未満の380円となる。しかしこの区間は特定区間に指定されており、10円安い370円に設定されている。あくまで推測に過ぎないが、瓦町駅から先の琴平線(高松築港駅・片原町駅)からの利用者と、JR四国・高德線の競合区間とを意識した運賃ではないだろうか。ただし、ことでの運賃は初乗りでJR四国よりも20円高いため、全体として運賃の面ではJR四国が優位となっている。

これに対して所要時間は各列車によるという結論になる。志度線はどの時間帯に乗車しても、かかる時間は同じだが、高德線は乗車する列車によって所要時間が異なる。再速達列車は23分で着くことができる。特に朝夕のラッシュ時には、できるだけ速く運行しようとしている意図が読み取れる。一方で日中には、志度線よりも5分以上長く乗車する列車も多い。これは、高德線は徳島県内の一部区間を除いてほとんどが単線であり、かつ特急列車が走っているという理由がある。途中の栗林・屋島・八栗口の3駅は交換可能駅となっており、対向列車または追い抜く特急列車を退避するために、5分以上停車することがある。高德線の所要時間のバラツキを考えると、どちらが優位とは言いにくい。

## 7. 本当に競合していると言いきれるのか

第5節で、2路線の距離の近さを理由に、競合路線として取り上げたことを述べた。終着・志度駅に近づくほどより競合していると考えられるのだが、一方で高松市街地においては、2路線の役割は大きく異なるように思われる。高德線は市街地中心部とは若干離れたところを通り、松山・高知・岡山方面行が集まるターミナル駅・高松駅に到着する。一方、志度線の終着駅・瓦町駅は、駅自体が大型商業施設の中にあり、加えて市内中心部の商店街やオフィス街にも近い。娯楽を求めて列車を利用する人や、オフィス街を目的地として利用するような人は、志度線を利用しそうだ。



<ことでん瓦町駅が入居するビル>

また、高等学校の存在も大きい。香川県東部の高校は高松市中心部に集中しており、高德線と志度線の沿線住民の多くが、通学のために利用している。高德線・栗林駅からの徒歩圏内に2校、志度線・瓦町駅からの徒歩圏内に4校それぞれ存在している。立地を確認すると、そのほとんどがいずれか一方の路線を利用した方が明らかに便利で、他方の路線を利用する選択はしないように思われる。ただ、運賃の関係から、志度線から高德線へと利用を変更する可能性は否定できないため、ことでんでは主要な収入源を失わないように、ICカード定期券で割引を行うなどの工夫を凝らしている。

以上のように、実際はすみ分けができていないのではないかという観点から検討してきた。競合していないと結論付けるには不十分な検証であるが、ターゲットとする客の奪い合いが極端に激しくはないということは確かだろう。

## 8. さいごに

本研究では、JR 四国・高德線とことでん・志度線の高松(瓦町)～志度間を取り上げて、その競合関係について記述した。志度方面になればなるほど2路線間の実際の「距離」は近くなり、沿線利用者の選択肢としていずれもが考えられるようになることを説明した。また、具体的な競合区間を利用した場合の、運賃と所要時間を比較し、各社の優位性を検討した。最後の節では、高松方面の駅の立地を考慮して、競合関係の激しさについても考えた。

2路線が競合関係にあることは確かだが、首都圏の激しい競合関係や運賃競争と比べれば、競合しながらうまく共存しているのではないだろうか。

## 脚注

(1) <https://www.jr-eki.com/ticket/brand/1-5EG> より

## < 参考ページなど >

Google マップ, 所要時間・運賃計算のため参照, 一部地図の利用.

四国旅客鉄道株式会社「2019年10月1日消費税率引上げに伴う 新しい運賃・料金のご案内」, 2019年7月.

四国旅客鉄道株式会社「高松駅時刻表」, 2021年3月13日.

JR おでかけネット (<https://www.jr-odekake.net/>), 所要時間・運賃計算のため参照.

JR 四国ツアー「ことでん・JRぐるり～んきっぷ」(<https://www.jr-eki.com/ticket/brand/1-5EG>).

高松琴平電気鉄道株式会社「電車営業料程表」(<https://www.kotoden.co.jp/publichtm/kotoden/fare/index.htm>), 2020年11月28日.

高松琴平電気鉄道株式会社「ことでん時刻表」(<https://www.kotoden.co.jp/publichtm/kotoden/time/index.htm>), 2020年11月28日.